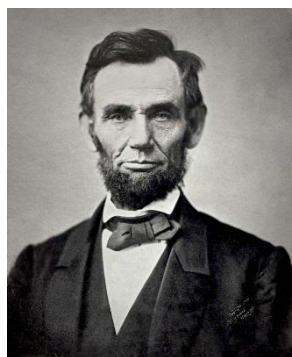


# 世にも危険な医療の世界史

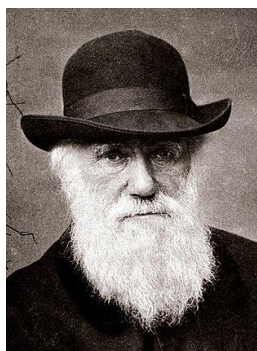
リディア・ケイン／ネイト・ピーダーセン

福井久美子 訳

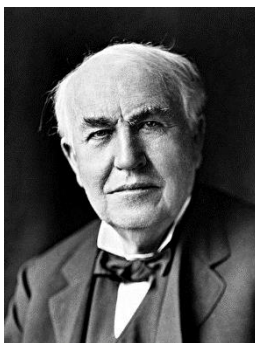
本書で紹介される“治療法”の主な犠牲者たち



リンカーン：  
水銀入りの頭痛薬を服用、重金属中毒になって症状はさらに悪化



ダーウィン：  
強壯剤としてヒ素を飲み続け、肌が浅黒くなるもやめられない

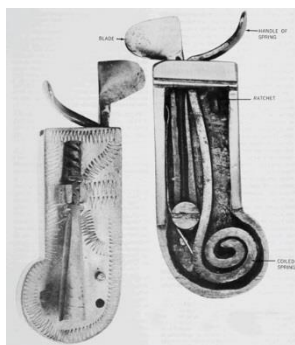


エジソン：  
コカイン入りワインを愛し、ハイになりながら徹夜で実験を重ねる



モーツァルト：  
体調不良の最中2リットルもの血を抜かれ意識喪失、翌日死亡

生まれる時代が違ったら、あなたも受けていたかもしれない——。  
科学を知らない人類が試みた、ぞっとする医療の数々！



- ・ラドンが溶け込んだ放射性飲料水をがぶ飲み！
- ・ペストになったら粘土を食べて解毒！
- ・頭痛がしたらこめかみに焼きごてを押し当てて解決！
- ・患者を強引に押さえつけ、6秒で太ももを雑に切断！
- ・ヒルを肛門に突っ込んで内臓から瀉血！
- ・ヤギの睾丸を身体に移植して若返り！

…and more

